

2月4日

# 東海第2原発施設内を視察

(茨城県東海村)



◆素掘り穴に1千  
万ベクレル/kg?  
バスで原発敷地内  
にある低レベル廃棄  
物(L3)という、放  
射性廃棄物の埋め  
立て予定地を確認。  
「深さ5メートルの  
素掘りの穴に、比較  
的汚染度の低いコン  
クリートガラや廃  
棄部品などを埋設  
する計画」と説明  
が、「おおよそどの  
くらいの汚染度で

2月4日に東海原子力発電所(日  
本原子力発電㈱)を視察。緊急時に  
対応する電源車・放水車の配備状況  
や、施設から出る放射性廃棄物(L  
3)の埋め立て場所、原子炉、燃料  
プール、使用済みの核燃料を冷や  
す乾式キャスクなどです。

県民要求運動実行委員会は2月13日、橋本昌昭県知事に東海原  
発の廃炉を求める第8次分の署名3,962筆を提出。合計30万  
8,025筆となりました。また県内議員ら15名は東海第2原発  
を視察するなど、原発ゼロへの活動に全力でとりくんでいます。

## ◆本当に緊急時に機能する?

東日本大震災を教訓に、緊急時  
の電源車、原子炉を冷やすための  
放水車が、国道をまたいで配備さ  
れていました。当日も道路は渋滞し  
ていたこともあり、「常時、緊急時  
対応職員が待機しているというが、  
一刻を争うとき  
に、国道をまたいで  
設置されている電  
源車、放水車が機能  
するのだろうか?」  
と疑問の声も出さ  
れました。

すか?」と聞くと、「核種によつて  
違いますがコバルト60で10の7乗  
ほどです」と返答。

説明してくれた職員は原子力技  
術の研究者です。思わず10の7乗  
を頭の中で計算し、「1千万ベクレル  
か?安全神話とは恐ろしいものだ」  
と思えた視察でした。

ちなみに原子炉建屋から出た際  
に必ず「0.00ミリシーベルトの被  
曝量でした。」と安心くださいとデ  
ータを見せてくれます。「4マイク  
ロシーベルト以下つてことかな?」と  
またまた頭の中で計算。築37年目  
を迎える東海第2原発。実際にこの  
目で施設を見学し、技術者にたく  
さん質問もして、「この力を10  
0%国産の再生可能エネルギーの開  
発に使えばどんなに良いことかと  
考えさせられました。

県議会で山中さんが一般質問  
で、江尻さんが予算特別委員会で  
取り上げる予定です。

(上野高志記)



## 3月定例議会のおもな日程

(県議会は2月26日から3月23日までの日程で行われます。)

- ・3、4日は代表質問(4人以上の会派のみ)
- ・5、6、9、10日は一般質問。
- ・12、13、16日は常任委員会。

山中たい子 防災環境商工委員会  
江尻加那 保健福祉委員会  
上野高志 総務・企画委員会

- ・18、19日は予算特別委員会

※ 山中たい子県議の一般質問の予定は  
9日(月)午後2時過ぎからです。江尻加那県議は  
予算特別委員会で質問に立ちます。詳しい日程は  
お問い合わせください。ぜひ傍聴にお越しください  
(傍聴席は本会議場250席、予算特別委員会室は  
50人です)。

## 一般質問者数制限撤廃求め2千筆超の署名

茨城県議会で本会議一般  
質問者数を40人に制限して  
いる問題で、田中重博茨城大  
学名誉教授や茨城労連、農  
民連、茨商連、新日本婦人  
会の県役員らが参加し、細谷  
典幸県議会議長、福地源一  
郎議会運営委員長宛に署名  
を提出しました。

「これでは言論の府といえ  
ない」「県民から選ばれた議  
員としての責任が果たせなく  
なる」など強く要望しました。

1月30日の議会運営委員

会で江尻加那議員が発言制  
限の撤廃を提案しましたが、  
江尻議員以外全員の反対で  
否決しました。

署名をいただいた多くの皆  
さんに心からのお礼を申し上  
げます。発言自由の県議会  
へ、これからも全力で頑張りま  
す。



# 福島原発被災地を視察

2月6日

「さよなら原発」たちなか主催で福島原発事故被災地の視察が行われ、山中たい子、江尻加那県議が同行しました。

被災地を案内してくれたのは、「生業(なりわい)を返せ、地域を返せ！」

「福島原発訴訟」原告団長の伊東達也さん(元日本共産党福島県議)です。



いわき市からバスで広野町、楡葉町、昨年9月に政府が全面通行解除とした6号国道を北上し、富岡町、帰還困難区域に入る大熊町から双葉町まで。今

なお、東京都の面積の半分に匹敵する広大な土地が、人が住めない区域として放射能に奪われています。

立ち寄った富岡駅は今年1月について駅舎が解体撤去され、海側に見えるのは累々と積



せてはならない」とあらためて痛切に胸に刻んだ一日でした。(江尻加那記)

み上げられた黒いフレコンバック。その大量の除染廃棄物などを処理する仮設焼却施設を国が建設中でした。

除染をすすめる避難指示解除準備区域では解除1年後に賠償金が打ち切られる問題や、放射性廃棄物の最終処分問題、長引く仮

設住宅での暮らしの問題など、被災者の生活再建の困難さは深刻です。「原発を再稼働さ

## 山中・江尻・上野★3 県議のかけあひ記



運動公園建設の賛否問う 直接請求運動 山中たい子

運動公園計画は住民投票で決めよう！と直接請求運動にとりくんでいます。

住民投票条例制定には有権者の50分の1以上の署名が必要なた

め、運動の母体である「総合運動公園建設の是非を住民投票で問うつくば市民の会」は、

目標を4千人と決め、署名を集める受任者も広げながら推進して

います。私も受任者の1人、22日(日)はつくば駅前で行く人に協力を呼びかけました。

この1年、運動公園建設は市民生活のいま

と将来にかかわる問題として、市民の間でも市議会でも議論されて

きました。市民の反対



予算特委で県政に質問 江尻加那

桃の節句に合わせて、我が家にも雛人形

を飾りました。娘を出産した時に、徳島の実家に置いたままにして



を合わせています。

あつた私のものを送って

もらいました。3月は、県議になって初めての定例議会で、1兆円を超える新年度

県予算案などを審議する大事な場です。毎日が調査と勉強。

水戸市内の児童養護施設で「小規模化」への課題を聞いたたり、水道

市長が土地購入(46万、66億円)を持ち出したのは昨年2月。市議会では賛成14、反対13の僅差で決まりました。用地取得の経過が不透明で、暮らしや福祉にしわ寄せするものと、直接請求運動に力を



残土埋め立て問題などで奮闘 上野高志

毎週水曜日の県議団会議を力に、県庁の各課との聞き取りやJ-A中央会、建設業協会との懇談など忙しい毎日です。

左は取手市米の井に残土を埋め立てたために雨水が排水されず溜まった場所の写真。写ってはいませんが、右側に主に東京都

の広域避難計画案についての聞き取りでは、現実的な計画案の問題点を再確認しました。予算特別委員会でも初めて知事と直接対決。県民の声を届けて県政をたたくします。



内が開発で生まれた、広さ2万6千㎡、高さ最大8メートル、10トンダンク25万台分もの残土を運び込んでいます。写真左奥には約150世帯の住宅地が。以前あった水路は、「ポリエチレン製の直径1メートルのコルゲート管というパイプを残土下に通し排水しています。先日の雨で壊れてしまいました。乱開発が進む取手市。緑多い茨城の地を守りたい。全力でがんばります。